

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者や地域の方々が主体的に学校運営に参画し、本校の教育目標である「確かに生きる」の実現に向けて協働します。その中で特に、学校づくりビジョンを具現化するために「授業を大切にする学校」「一人ひとりを大切にする学校」「保護者や地域と協働し高め合う学校」の3つの決意を意識して取り組みます。運営協議会の活動は、「生徒の実態を把握し、協議を行う」「学校教育活動を地域に広める」「生徒と地域の関わりを深める」の3つの視点を大切にして推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①富田再発見（フィールドワーク）【5月31日】

自分たちの住んでいる町「富田」について調べ、富田の未来について考えること、自分たちの住んでいる町「富田」の地域の人たちとつながりを深めること、富田の魅力や課題について追究し、持続可能な町づくりの具体案を考え、発信することを目的に中学2年生で実施しています。生徒が調べたい「富田」のテーマについて、地域の人にインタビューをしたり、フィールドワークを行ったりしています。

テーマは、防災、石取り祭り、伝統のある商店や商店街、桜祭り、鯨船祭り、鳥出神社の歴史、どんどこ祭りなどです。コミュニティスクール運営協議会の委員の方が、この学びを深められるよう、話をしてくれる地域の団体等につなぐなどコーディネートしてくれました。その後レポートを作成し、学年での発表会を行い、その様子を第2回コミュニティスクール運営協議会で参観しました。



②中学生と語る富田の未来【2月28日】

生徒たちが自分たちの生活している「富田」について、改めて考え、見つめ直し、未来への展望を持つこと、中学生と地域まちづくりの中心として活動されている方々との「出会い」「ふれあい」を通して、これからの未来の富田を一緒に考え、学び合う機会とすることを目的として行っています。コミュニティスクール運営協議会の委員が、生徒が発表するテーマに関係する団体の方に参加を募り、コーディネートをしています。その方々をパネラーとして迎え、中学生の「富田再発見（フィールドワーク）」の内容について意見交流を行い、富田地区のこれからについて考えることができました。

③PTA除草活動【9月21日（土）】の前の草刈り

保護者や地域の皆さん、教職員が一緒になって「PTA除草作業」を行いました。今年度は保護者・地域の皆様と生徒を含め、総勢200名ほどの参加がありました。除草作業の前には、コミュニティスクール運営協議会の委員の方が、休日等を利用して学校内の草刈りをしていただきました。そのような地域の皆様方の富田中学校を思う気持ちが生徒にも伝わっていると思います。教育活動に安心・安全に取り組める環境を作っていただきました。学校づくりの3つの決意の一つである「保護者



と地域とともに高め合う学校」を目指すうえで欠かせない活動となっています。

④コミュニティスクール運営協議会委員と生徒との意見交流 【6月25日】

委員長の発案で、コミュニティスクール運営委員と富田中学校生徒会役員が、生徒と直接富田について話をする機会をもちました。委員長から四日市版コミュニティスクール運営協議会の説明を行い、その後、事前に生徒たちが考えてきた、「富田地区でここが良くなる」といという意見を伝えました。それに対して、委員の方からは実現するために、どのように行動していったらよいかなど、具体的に助言をもらいました。その場で回答できなかった富田地区のまちづくり協議会の組織や、自治会の活動については、後日委員長が生徒と話す機会を再度持ち、直接答えてくれました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は5回の運営協議会を開催しました。5回のうち3回は授業参観、2回は体育祭、文化祭の参観です。校内ふれあい教室の様子(WAVE)や、特別支援学級の様子、教科の授業の様子、富田再発見の学年発表の様子、着付け教室の様子等いろいろな場面を見ていただきました。また、「富田中学校のグラウンドの放送設備が古いため、体育祭では、コミュニティスクール運営協議会委員の方が、富田地区社会福祉協議会にお願いしてくださり機器をお借りしました。

第2回運営協議会では、委員長発案で、委員全員と生徒会役員が富田地区のことについて話し合いを行いました。生徒からは土木要望になる提案が多く、委員の方からは、自治会から市に要望をあげられるなど地域の仕組みを教えてもらいました。生徒たちは、地域の大人が学校をより良くするために組織をつくり活動していることを知り、有意義な会であったと感じていました。委員にとっても、中学生がどのように富田地区を見ているかを知る良い機会になりました。

学校評価アンケートでは、「地域の人や保護者と協働した学習や活動に取り組むことができた」と答えた生徒は55%（昨年より+5ポイント）、「お子さんは、地域の人や保護者と協働した学習や活動に取り組んでいました」と答えた保護者は63%（昨年より+3ポイント）でした。「地域の人や保護者と協働した教育活動を計画的に実施した」と答えた教職員は82%（昨年より+4ポイント）でした。生徒、保護者と教職員の差をうめるためにどうしたらよいかと委員全員で考えたところ、委員からは、「地域」の中に「家庭」もあるということを生徒や保護者に伝え、家庭の教育が学校を支える活動の1つであるということを伝えていけるとよいのではないかとアドバイスを受けました。学校と家庭、地域共に協働していくことが大切だという意識の向上が見られました。教職員も地域との協働の様子を、クラスや通信、HPで発信していきます。

3 今後に向けて

富田地区の地域や保護者の皆さんは、以前から積極的に、教育活動に参加し協力をいただいています。また生徒たちも地域に関わりたいたいと考えています。令和7年度に向けて富田地区の関係団体と日程を調整しながら、令和6年度に続き、地域防災訓練への参加等を行っていきたいと考えています。今後もコミュニティスクール運営協議会とともに、地域、家庭、学校が一緒になって、開かれた学校づくり、保護者や地域と協働し高め合う学校づくりを進めていきたいと考えています。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立富田中学校委員長 山下 純生校 長 市森 幸子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回CS運営協議会	・授業参観 ・R5 学校自己評価成果と課題、R6 学校づくりビジョンの承認 ・学校の様子の報告及び意見交換等
5		
6	第2回CS運営協議会	・授業参観 ・生徒会役員との懇談 ・学校の様子の報告及び指定物品、意見交換等
7		
8		
9		
10	第3回CS運営協議会	・体育祭参観 ・生徒会役員へのフィードバック
11	第4回CS運営協議会	・文化祭参観
12		
1		
2	第5回CS運営協議会	・授業参観 ・R6 学校自己評価結果の分析及びR6 学校経営について ・学校の様子の報告及び意見交換等
3		